

山陽小野田みらい会議実施報告書及び提言書

平成 29 年1月
山陽小野田みらい会議

目次

1. 山陽小野田みらい会議実施報告について	1
2. 実施日・場所	1
3. 実施方法	1
4. ワークショップでの検討事項	2
(1) 山陽小野田市の「いいところ」「もっと良くしたいところ」	2
(2) まちづくりの取組について考えよう（主な意見のとりまとめ）	5
5. 提言内容	18
子育て・福祉・医療・健康	18
市民生活・地域づくり・環境・防災	19
都市基盤	20
産業・観光	21
教育・文化・スポーツ	22
行財政運営	23

1. 山陽小野田みらい会議実施報告について

本市では平成 20 年度から 10 年間の計画期間とする第一次山陽小野田市総合計画に基づき、「人と出会い支え合い自然とふれあう活力ある住み良さ創造都市」の実現に向けて市政運営に取り組んできました。

一方で少子高齢化や人口減少社会など様々な課題に直面しているなか、持続可能な地域を維持することが重要であり、まちづくりの方向性を市民と行政が共有し、一体となってまちづくりに取り組んでいく必要があります。本会議では、今後 12 年間の総合的なまちづくりの指針となる計画を策定するにあたり、市民の皆様が「住みたい・住んで良かった・住み続けたい」と感じるまちをめざすため、市民の皆様と一緒に市政を考える機会として開催しました。

会議では山陽小野田市の「いいところ」「もっと良くしたいところ」など全体として意見交換をしたのちに、施策ごとに方向性やまちづくりを進める上でのアイデアを出し合い、共有しました。

山陽小野田みらい会議の内容を、次期計画策定に向けての提言書として取りまとめました。

2. 実施日・場所

	日時	場所	参加者数
第 1 回	平成 28 年 11 月 2 日（水） 18：30～20：30	山陽小野田市役所	22 人
第 2 回	平成 28 年 11 月 17 日（木） 18：30～20：30	山陽小野田市役所	21 人
第 3 回	平成 28 年 11 月 24 日（木） 18：30～20：30	厚狭地区複合施設	16 人
第 4 回	平成 28 年 12 月 6 日（火） 18：30～20：30	山陽小野田市役所	19 人
第 5 回	平成 29 年 1 月 25 日（水） 18：30～20：30	山陽小野田市役所	16 人

3. 実施方法

市の魅力や課題、施策ごとの方向性の検討にあたっては、KJ 法（主にフセン紙に意見を書きだし、グループごとにまとめていく手法）で実施しました。

4. ワークショップでの検討事項

(1) 山陽小野田市の「いいところ」「もっと良くしたいところ」

【※第1回山陽小野田みらい会議平成 28 年 11 月2日(水) 実施内容】

①子育て・福祉・医療・健康

【いいところ】

病院が多い



【もっと良くしたいところ】

医療費の面での子育て支援

高齢者が施設以外でゆっくりできる場所があるとよい

②市民生活・地域づくり・環境・防災

【いいところ】

公園が多い
(江汐公園、竜王山公園など)

自然の豊かさ
(山と海がある、穏やかな気候など)

夕日がきれい
(焼野海岸など)

ほどよく田舎で住みやすい

【もっと良くしたいところ】

海水浴場の整備

住宅の見直し・空き屋の活用

子どもや若い人が少ない

山にごみが多い

県外に出た人が戻ってきてほしい

中高生の自転車のマナー



③都市基盤

【いいところ】

新幹線の駅がある	高速道路のインターがある	交通アクセスがよい	空港に近い
----------	--------------	-----------	-------

【もっと良くしたいところ】

交通の便が悪い	バス・電車の本数が少ない	古い公共施設が多い	渋滞の緩和
---------	--------------	-----------	-------

駐輪場・駐車場の整備	新幹線駅前の整備
------------	----------

④産業・観光

【いいところ】

大型商業施設がある (サンパーク)	みちしお(温泉)がある	貝汁がおいしい	中国電力・西部石油 など大きな工場がある
----------------------	-------------	---------	-------------------------

花火がすばらしい	花の海がある
----------	--------

【もっと良くしたいところ】

観光名所が少ない	商業施設の充実 商店街がもっと活気 があるとよい	飲食店やおしゃれな 店があるとよい	駅前に人が少ない
----------	--------------------------------	----------------------	----------

ガラス工芸のPR	工場や働く場所が増 えるとよい	イベントが少ない	全国的な特産品や名 物がほしい
----------	--------------------	----------	--------------------

⑤教育・文化・スポーツ

【いいところ】

公立大学がある
学生が増える

スポーツ施設が多い
(サッカー場、ゴルフ場など)

オートレース場がある

寝太郎伝説がある

オートレース場がある

変わった地名がある
(硫酸町、セメント町、寝太郎町など)

大行司・小行司の祭りがある

徳利窯がある

【もっと良くしたいところ】

大学が賑やかになるとよい

市民が一つになる祭りがあるとよい

サッカー場の充実

⑥行財政運営

【もっと良くしたいところ】

若者がもっと市政に関心を持てばよい

市役所が古くて暗い



(2) まちづくりの取組について考えよう（主な意見のとりまとめ）

【※第2回山陽小野田みらい会議平成28年11月17日(木) 実施内容】

【※第3回山陽小野田みらい会議平成28年11月24日(木) 実施内容】

子育て・福祉・医療・健康

1 子育て支援の充実

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●保育士不足をどうするか（保育園等設備はあるが、保育士が足りない） ●子育て負担軽減の内容は十分か ●保育園の時間を長くしてほしい ●放課後の児童はもう少し勉強があったほうがよい（学習塾） ●働く親の家庭に対する支援制度をもっと充実してもらいたい。病気（子ども）の時、仕事が長引いてなかなか帰れない時、子どもをフォローしてくれるような ●地域の子ども会が消えている（少子化と、親が役員を嫌がる） ●通学路が危ないところがある ●子どもが外で遊んでいる姿を見るのが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもを遅くまで預けられない。学童の時間見直しなど ●時間外保育の充実 ●放課後児童の保育内容の充実（教育的内容） ●放課後児童への学習支援。大学生ボランティアの活用。 ●ファミリーサポート制度の継続（充実） ●育児休業を取りやすく ●コミュニティ活動の協力充実 ●保育園等に高齢者のボランティアを活用 ●若い方が出やすい地域づくり ●若いお母さんが集まるイベント。そこで子育て支援 ●母親どうしの情報交換の場づくり ●子どもたちが安心して遊べる場所（公園等） ●シルバー人材センターの活用 ●必要な子どもに学習援助。無料塾など ●福祉医療の拡大。所得制限の撤廃 ●子どもの貧困対策 ●子育て助成金がほしい ●子どもの医療費無料・予防接種無料 ●少子化対策 ●出産一時金を増やす ●保育士への助成 ●子育て支援センター（子育て相談者の充実）無料化 ●子育て支援センターと発達障害等支援センターを一緒につくる（一本化） ●多子世帯補助、子ども一人目からの補助

2 高齢者福祉の充実

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ● デイサービスは多いが泊まる場所が少ない ● 急な時など、ショートステイで泊まる場所が少ない（使える場所が少ない） ● 生涯現役づくりがしたいが、活動が難しくなっている ● 高齢者用の車、移動手段がほしい ● 新総合法の内容がわかりにくい（市民に知る場を） ● 公共施設が古く、高齢者、障害者にとって利用しにくい ● 福祉施設が多いので、わりと充実してみえる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援者、介護者に対する助成・支援の拡充 ● 世代間の交流 ● 高齢者の過ごす場所づくり。グラウンドゴルフなど ● 福祉用タクシーの充実 ● 公共交通の充実 ● 老人ホームを増やす ● バリアフリー化 ● 健康づくり ● 医療情報キッドの充実（一人暮らしの高齢者全員に）

3 障害者福祉の充実

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ● 身障者用駐車場のルールをはっきりとしてほしい ● 公共施設、駅などすべてにエレベーター導入してほしい ● 発達障害の治療のできる病院を（他市には良い病院があると聞きます） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉用タクシーの充実 ● バリアフリーの充実 ● （発達）障害者等の支援センターの設置

4 地域福祉の推進

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティアの居場所づくり。グループ化、見える化を進める ● ボランティア情報室を公共施設に設置する。 ● ボランティア募集をとりまとめる市のシステムづくり ● 高齢者（退職者）の活用



5 社会保障の安定

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ● 適正な社会保障

6 健康づくりの推進

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●気軽に健康づくりができる場の提供 ●SOS 体操。知らない人が多い ●保健センターが古く、調理室が不便 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康フェスタの充実 ●食育による健康づくり ●ウォーキング・ジョギングコース、サイクリングコースの整備 ●公園の整備（安全性）

7 地域医療体制の充実

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●待ち時間が長い（市民病院） 	<ul style="list-style-type: none"> ●専門医の充実 ●健康診断の充実 ●医者の数を増やす ●産婦人科を増やす ●休日診療の充実 ●市民病院の診療時間の拡大

基本目標 2 市民生活・地域づくり・環境・防災

1 消防・救急体制の充実

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●AED が難しい。AED の設置場所が不明（特に夜間） ●消火栓の場所がわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ●AED の講習の充実。AED の設置場所の把握。 ●すべてのスーパーやコンビニに AED を設置するなどマニュアル化する ●救急の講習を増やしてほしい ●市民病院。救急体制を充実してほしい（要望） ●消火栓の位置をはっきり示してほしい ●消防団員の増加 ●消防団・防災を自治会で充実させる ●町内ごとの消防教育

2 防災体制の充実

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●避難場所が不明 ●備蓄品があるか ●防災の講習受講者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●救急の講習を増やしてほしい ●市の防災日を制定 ●小学校の「災害時の子どもの引きとり訓練」を山陽小野田の学校もやってほしいです ●地震に備え、菊川断層のことを知る

3 防犯・交通安全対策等の推進

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●街灯に木の枝がぶらさがり、切ることができない。(特に通学路) 	<ul style="list-style-type: none"> ●事故の多い路線の見える化。市民に知らせる(要望) ●デマンド交通の研究 ●通学路を明確に ●夜間の歩行者の安全 ●道の大きな(深い)溝にふたをしてもらいたい(結構多い)。夜、落ちそうで危ない ●空き家の活用で若い人たちを支援 ●空き家となった古民家を店舗として活用 ●危険空き家は解体

4 消費者の保護と意識啓発

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●臨時福祉給付金が出ると詐欺が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ●だまされないための教育(知らせ)

5 地域づくりの支援

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●自治会長などになる人がいない ●市民が自分の住んでいる町を知らなすぎる 	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会に支援(助成) ●高齢者買い物支援 ●津布田の夕陽PR ●ふるさとの運動会・町内運動会の継続(商品が必要) ●大規模なフリーマーケットなど地域住民が交流できるイベントを実施する ●すでに開催されている市のイベントに魅力的なイベントを追加する ●2倍成人式。市が主催の同窓会 ●大学と連携したイベントを考える ●イベント開催の助成制度

6 市政への市民参加の推進

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと

- ボランティアの登録窓口を作り情報発信
- 会議へのお誘いを増やす



7 人権尊重のまちづくり

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと

- 児童相談所、各種福祉施設での人権教育の推進

8 自然環境の保全と活用

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●良いところがたくさんあるのに、市民でさえ知らない現状がある ●ナベツルが飛来していたがPRが足りない ●猪の出没がある（江汐公園） 	<ul style="list-style-type: none"> ●きららビーチの保全 ●自然を活かした観光PR。グリーンツーリズム、農業体験など ●アサリがとれるように（昔はとれていた）

9 資源循環型社会の形成

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと

- ゴミ、タバコをポイ捨てしたら罰則

10 国際交流・地域間交流

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと

- 交換留学制度
- ヨーロッパの都市との交流
- 大型船が入る港を作る



11 定住促進

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●仕事をする場所がいる ●山口県内で人口のとり合いをしても仕方がない ●アパートが多い（古くなったら使わない） ●小野田は住みやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ●理科大生の就職先の確保 ●空家リフォーム・空家の有効利用（程度のよい空き家を登録して確保しておく） ●市営住宅を増やす ●ゲームで集える場

都市基盤

1 快適な生活環境の確保

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●江汐公園（ウォーキングに最適） ●竜王山にネコが多い ●コンビニが増えるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ●江汐公園にリスなどを放す ●特化した公園。ジョギングとか ●竜王山をネコ山にしよう・ネコ山として売っていく ●子どもと高齢者が共に集える環境 ●団地（市営住宅）の再生（建て替え）。合わせて商業施設 ●若い人が定住できる住宅確保 ●高齢者が住みやすい特区 ●高齢者施設と子ども向け施設の併設 ●アパートなどを借り上げて低額の高齢者住宅 ●進化形の住宅団地。子育て→老後 ●空き家活用 ●危険空き家の強制撤去 ●健康器具を集めた公園整備

2 安全な水の供給と確保

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●水道水に不満なし 	<ul style="list-style-type: none"> ●下水道整備 ●宇部市と交渉し、水道料金を下げてほしい ●水道管を新しく（災害に強く）

3 生活交通の充実

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●デマンドバスの活用 ●学生の増大に合わせて、デマンド交通を大学周辺にもつくる ●電車、バス等公共交通機関の乗り継ぎをよくする ●小野田駅、厚狭駅の自由通路をつくる ●駅前駐輪場の充実。屋根をつける ●自動運転できる車の導入



4 適正な土地利用の推進

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
●厚狭駅（新幹線口）に魅力がない	<ul style="list-style-type: none"> ●厚狭駅南部の市街化への発展。 ●厚狭駅（新幹線口）の発展（ゴルフで来られる方をターゲットにする） ●新幹線が停車することからもっと市街化が進んでほしい ●県道小野田山陽線の拡張 ●小野田駅前の未活用の店、土地の活用 ●プレゼンを工夫

5 広域交通体系の整備

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
●道路はよい。便利がよい	●公園通りの道路の幅の整理、拡大

6 港湾整備の促進

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●国東行きフェリー ●旅客船の寄港の実現 ●新港の拡充 ●開港しよう



7 高度情報化への対応

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●若い人たちへの伝達方法を考える ●高齢者向けパソコン教室（無料で）

産業・観光

1 多様な働く場の確保

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと

- 薬関係の企業誘致
- ハローワークを中心地へ



2 工業の振興

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと

- 市内で製造している製品のPR

3 商業の振興

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと

- 厚狭駅前商店街の復活
- 飲食（バー、スナック）を活気づける
- 宿泊施設（ホテル）の充実
- おしゃれな店を
- 商店向けリフォーム助成制度の開設
- 中小企業振興条例を生かした政策を
- サンパーク周辺を商業地区に。アウトレットモールがほしい
- セメントアウトレットモール
- 寝太郎とコラボ
- 起業家（特に女性）への支援



4 農業の振興

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●ねぎ、アスパラガス、のり ●寝太郎かぼちゃ 	<ul style="list-style-type: none"> ●格安で土地（農地）整備をして！ ●Iターン者に助成。受入先にも助成 ●休耕田の草刈りのヤギ普及 ●理科大に農業科を作ってください ●ネギ三昧 ●花の海、埴生干拓を利用

5 林業の振興

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと

- 竹を生かした産業
- きこりさんを育てる
- 道の駅を作る
- いのしし料理の活用



6 水産業の振興

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと

- のりの復活
- あさり貝の復活
- ナルトビエイの駆除
- ウナギの養殖
- 地引網の実施、充実（埴生、津布田）

7 観光・交流の振興

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●ビンゴゲームは盛り上がる ●きららビーチ海岸付近では、セーリングをしても海から上がって休む場所がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光をアピール。ネットなどを利用 ●観光地の見える化整備 ●道の駅を作ってほしい ●道の駅を梶に。汐場、貝汁など他市にないものを活用 ●既存の魅力を発信。山陽小野田市にしかないものをアピール、発信 ●ゴルフと兼ねて行けるところ ●ゴルフ場の近くにホテル ●ウィンドサーフィンの施設整備（休憩、道具の整備場所、更衣室など） ●工場の夜景クルージング ●祭りの宣伝をもっとしてほしい ●イベントスケジュールを市内でかぶらないように管理 ●映画撮影のロケーションに ●市の特産品を増やす ●ジビエ料理を作る ●汁 one グランプリ ●名産品の復活。ダイナマイトようかん

基本目標5 教育・文化・スポーツ

1 教育の充実

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●教育のスタートは家庭から ●大人のいじめがあるから子どものいじめはなくなる ●いじめは他にやることがないから起こるのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ●産学公連携 ●高校・大学接続の充実 ●子どもを地域全体で教育する ●大学進学者への補助 ●いじめ対策（いじめに関して毎日教育の場できがけてほしい、いじめで死なない方法を考える） ●小中学生にスマホを与えない ●学校のトイレをきれいに ●教員の数を増やす ●教職員の資質向上のための研修の場。助成 ●特別支援教育。相談しやすい場の提供（子育ての悩み） ●レノファの選手、オートレーサーの授業 ●図書館の本の充実 ●山陽小野田市の史跡（歴史）を未来に継承しよう。子どもたちに伝えよう ●リタイアしたベテラン保育士や教員を活用 ●コミュニティ・スクールの存在をもっと広く知ってもらおう ●地元の食材を使用した給食（食に関心を持つ。地元でとれる食材に興味を持つ） ●子どもに休日を！

2 家庭や地域社会の教育力の向上

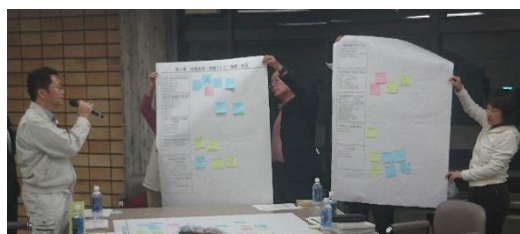
現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●家庭教育が一番大切 ●たむろする場所が改善されていない（毎回同じ場所） 	<ul style="list-style-type: none"> ●親・保護者への教育（子育て、人権） ●パトロールをし声かけをしてほしい（今以上に） ●家庭で門限を決めておく ●大人への教育も必要 ●青少年の居場所づくり ●生涯学習の充実（大学でカリキュラムを作る） ●公民館でやっている講座を広く周知する

3 芸術・文化の振興

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●元気！やる気！する気！ 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民文化祭展示方法。もう少しプロのような形で ●文化財のPRをもっとする ●いろいろなコンサートを行う ●もっと有名な人のコンサートを開いてほしい ●文化会館をもっと活用する ●有名な人の講演をする ●ガラスを活用したまちづくり ●ねたろうパーク ●ふとん産業の誘致

4 スポーツ・レクリエーションの振興

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ●自然があるからそれを生かしたマラソン、サイクリングレース、ウォーキングの開催（全国レベルのものも） ●江汐公園の活用、江汐ウォークの開催 ●高齢者も参加できる運動の推進（グラウンドゴルフ、カローリング） ●スポーツと観光をコラボして市に人を呼びこむ ●市外からの参加者を募るような大会（市に人を呼ぶ） ●スポーツインストラクターの養成を！ ●部活を外部の専門家が実施する（顧問） ●市でクラブチーム（子ども）の発足 ●レノファを活用する ●オートレース場の活用（スポーツ大会、自転車など） ●テニスコート整備 ●体育館の設備の充実 ●体育館を新しくする、厚狭南部へ体育館を作ってもらって人集め！



基本目標 6 行財政運営

1 効率的な行政運営

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと

- 職員の専門性を構築
- 外部（民間等）からのスキル活用

2 公共施設の適正化

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと

- 公共施設を高い場所に設置する
- 元厚陽中学校を避難場所にしてもらいたい！
- 空き市営住宅の有効活用
- 空き市営住宅を解体して空いた土地を活用
- 市内公民館の利用促進。市民の居場所づくり
- エレベーターなど障害者が利用しやすい施設にする
- 市役所をリフォーム
- 施設をまとめて効率化

3 健全な財政運営

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと

- もう少し子どもに予算を配分してほしい
- 学校の社会見学の時にたくさんある会社の見学をさせるのはどうか
- 産業を促進して税収を上げる
- このまちだけで高齢者医療は困難。国に Help！



4 市政情報の発信

現状と課題	アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ● 広報の魅力がない ● 広報記事を詰めこみすぎ ● FM サンサンきららを聴く人が少ない ● イベント等のPR力が弱い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市HPの充実（イベントのお知らせ、広報等で宣伝） ● 広報やHPでイベントの予定を大きくPRする ● 広報の仕方を変える ● 広報の字を大きく ● 市民参加型の広報 ● 市民の考えを発信する場所 ● 地域活動報告の記事掲載 ● ホームページ・広報を見やすく工夫する ● 年代に応じた情報伝達手段を考える ● 市民だけでなく、市内企業向けにも広報紙等を配布する ● リアルタイムの情報発信（SNS、インスタ、LINEなどの活用） ● ホームページをデザイナーにデザインしてもらう ● 終了したイベントの報告よりも、これから行われるイベントの広告、周知に力を入れてほしい ● 青年の家、天文館の宣伝をもう少ししてほしい

5 広域連携

アイデア・取り組みたい・取り組んでほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> ● 旧山陽地区がにぎやかになるよう ● 思いきって宇部と合併



5. 提言内容

今後さらに本市のまちづくりの推進を図るとともに、次期計画の見直しに向けて、以下の内容を提言します。

子育て・福祉・医療・健康

提言

【子育て支援の充実】

- 保育環境の充実を図り、安心して子育てできる環境を整える
- 低所得家庭の支援を通じて子どもが貧困にならないよう支援する
- いじめの対策・不登校対策の充実を図る
- 地域が支える、地域の人に相談できる仕組みづくりを進める

【高齢者・障害者支援の充実】

- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう介護保険サービスの充実を図る
- 障害に合わせて必要な病院、施設の整備及び家族支援の体制づくりを進める
- 高齢者や障害者が利用しやすいよう公共施設のバリアフリー化や移動手段の確保を図る

【健康づくりの推進】

- 市民が気軽に健康づくりができる環境をつくる
- 食育の推進体制を充実し、食を通じた健康づくりを進める

市民意見のまとめ

子育て・福祉・医療・健康の分野では、子育て支援の充実や高齢者福祉の充実、健康づくりの推進に対する意見が多くあげられました。

施策ごとに見ていくと子育て支援の充実では、保育士不足の問題や時間外保育、放課後児童クラブの充実など保育サービスに関する内容が多くあげられています。また、働く親への支援などワーク・ライフ・バランスに関する支援や国でも取組が始まっている子どもの貧困対策、医療費や子育て世帯への補助など子育て家庭の負担の軽減があげられています。また、若い世代の交流の場づくりもあげられており、情報交換やイベント、子どもが安心して遊べる場などが求められています。

高齢者福祉の充実では、介護保険サービスに関することや高齢者の移動手段の問題、高齢者の生きがいづくりや世代間交流に関する意見があげられています。

障害者福祉の充実では、近年発達障害や発達が気になる子どもも増加していると考えられており、発達障害に関するセンターの設置なども意見としてあがっています。また、公共施設などのバリアフリー化も求められています。

健康づくりの推進では、気軽に健康づくりができる場や食育による健康づくりなど市民が取り組みやすいところからの健康づくりがあげられています。

市民生活・地域づくり・環境・防災

提言

【消防・救急体制の充実】

- AED の設置箇所の充実・利用方法等の周知を図る
- 自治会を通じた消防団員の確保や消防に関する教育の充実を図る

【防災体制の充実】

- 避難場所や防災知識の普及啓発を図る

【地域づくりの支援】

- 自治会の人材確保や地域活動の継続に向けた仕組みづくりを検討する

【自然環境の保全と活用】

- 自然環境の保全を図り、美しい景観を魅力として PR する

【定住促進】

- 住まいの場・働く場の両面からの確保を図り、若者の定住を促進する

市民意見のまとめ

市民生活・地域づくり・環境・防災の分野では、消防・救急体制の充実や防災体制の充実、地域づくりの支援、自然環境の保全と活用、定住促進に対する意見が多くあげられました。

消防・救急体制の充実では、AED に関することが多くあげられており、講習会の充実やコンビニへの AED の設置など身近なところで学んだり、設置することが求められています。また、消防団員の増加なども求められており、小学校区ごとにさらなる充実を図ることや自治会ごとに消防に関する教育をしていくこともあげられています。

防災体制の充実では、避難場所が不明であることや備蓄があるかなどがわからないといった避難場所に関することがあげられています。また、防災に関する講習会の受講者が少ないこともあげられており、避難場所の周知や講習会への参加促進をしていくことが求められています。

地域づくりの支援では、自治会長になる人がいないことや自分の住んでいるまちを知らないことなどがあげられています。自治会への支援や町内の運動会などを継続しながら地域のことを知ってもらうことや後継者となる人を育てていくことが求められています。

自然環境の保全と活用では、きららビーチの保全や山陽小野田市の美しい自然を生かした観光の PR やグリーンツーリズム、農業体験など自然環境を活用しながら市内外から人に来てもらうための取組があげられています。

定住促進では、山陽小野田市が住みやすく、アパートが多いといった意見があげられており、空屋をリフォームするなど有効活用しながら定住促進を進めていくことなどがあげられています。また、定住するには、仕事をする場所があるため、山口東京理科大学の学生の就職先を確保していくこともあげられています。そのほか、居住年数が長い人や長期に渡って山陽小野田市に住む人を優遇するなど、人口流出を防ぐ対策を検討することなどもあげられています。

都市基盤

提言

【快適な生活環境の確保】

- 住まいの確保や公園の整備など市民が心豊かに暮らせる環境を整える

【生活交通の充実】

- 公共交通機関間の乗り継ぎなどの充実を図る

【適正な土地利用の推進】

- 駅周辺などの賑わいの創出を図るため、土地開発を進める

【生活交通体系の整備】

- 渋滞の解消に向けて、道路交通網の整備を検討する

市民意見のまとめ

都市基盤の分野では、快適な生活環境の確保や適正な土地利用の推進に対する意見が多くあげられました。

快適な生活環境の確保では、若い人や高齢者が住みやすい住宅の確保や高齢者と子どもが交流できる施設の設置など他世代交流の場づくりがあげられています。また、江汐公園をウォーキング・ジョギングエリアとして活用することや近年ウサギ島など動物が多く住んでいることを観光として活用しているところもあり、竜王山に猫が多いことから猫山として売り出していくことなどがあげられています。

適正な土地利用の推進では、小野田駅前の未活用の店や土地の活用、新幹線が停車する厚狭駅や厚狭駅南部の市街化への発展など駅周辺の施設や土地開発があげられています。

そのほか、公共交通機関間の乗り継ぎが不便であることや慢性的に渋滞している地区もあることから、生活交通の充実や広域交通体系の整備についても意見があげられています。

産業・観光

提言

【商業の振興】

- 商店街等の活性化に向けた支援策を検討する
- 駅周辺の賑わい創出を図るため飲食店等を誘致する

【観光・交流の振興】

- 多様な媒体を活用した観光 PR のさらなる強化と、観光の核となる拠点を整備する
- 山陽小野田市ならではの地域資源を活用した特産品を開発する
- 魅力あるイベントの充実と参加しやすい環境をつくる

市民意見のまとめ

産業・観光の分野では、商業の振興や観光・交流の振興に対する意見が多くあげられました。

商業の振興では、厚狭駅前商店街の復活や飲食店を活気づけるといった意見があげられており、取組として商店向けリフォーム助成制度の開設などがあげられています。また、本市にはショッピングモールのサンパークがありますが、その周辺にアウトレットモールがほしいといった意見もあげられています。

観光・交流の振興では、観光 PR がまだ十分ではないことから、観光に関する PR をしていくことや、本市には道の駅がないことから道の駅を求める意見が多くあがっています。また、特産品においても知名度の高い特産品が少ないことからジビエ料理やうなぎの養殖、その他本市のものを活用した特産品を増やしていくことなどがあげられています。これら特産品については、道の駅を核として販売することで雇用の確保を図り、産業振興や水産業、農林業などへの波及効果も期待できることがあげられています。さらに B-1 グランプリなど全国的に知名度の高いグルメの大会もあり、本市には貝汁などを作っているところもあることから汁 one グランプリを開催するなどもあげられています。そのほか、市で開催される祭りなどについては、スケジュールが重なることがあり、祭りが重ならないようにすることで参加しやすくなり、人も増えるのではといった意見もあげられました。

教育・文化・スポーツ

提言

【教育の充実】

- 高校からの進学先として選ばれる大学づくり
- 質の高い教育が受けられるよう学校教育環境の充実を図る
- 子どもの持つ不安や悩みを早期発見・対応できる仕組みをつくる

【家庭・地域社会の教育力の向上】

- 地域、家庭、学校が一体となり、青少年の健全な育成を支える仕組みをつくる
- 地域や保護者も子どもの教育に携われるよう学習機会を設ける

【芸術・文化の振興】

- 様々な魅力あるイベントを通じて文化会館の利用促進を図る

【スポーツ・レクリエーションの振興】

- 市民が親しみやすく、健康づくりにも生かせるよう運動・スポーツの推進を図る
- 競技スポーツを活性化するための人材養成と設備の充実を図る

市民意見のまとめ

教育・文化・スポーツの分野では、4つの施策それぞれに意見が多くあげられました。

教育の充実では、本市には山口東京理科大学があり、大学進学者への補助や高校と大学の連携など高校や大学への支援、産学公連携を進めていくことがあげられています。また、学校教育の場ではいじめ対策が多くあげられているほか、教員の資質向上もあげられています。

家庭や地域社会の教育力の向上では、家庭教育が一番大切であることから、子育てや人権などについて親や保護者に教育していくことがあげられています。また、地域においてもパトロールや声かけを今以上にしていくことや青少年がたむろしたりしないよう青少年の居場所づくりもあげられています。さらに、生涯学習の充実や公民館講座などを広く周知することもあげられています。

芸術・文化の振興では、文化財のPRやコンサートの開催など文化会館の利用促進などがあげられています。また、山陽小野田市の歴史を知ることで市に愛着を持った市民が増えることも期待されることから、市民が歴史を学べる場をつくり、それを発信していくことが大切であるといった意見もあげられています。そのほか、山陽小野田市ならではのまちづくりとして、ガラスを活用したまちづくりや寝太郎パークといった意見もあがっています。

スポーツ・レクリエーションの振興では、自然を生かしたマラソンやサイクリングレース、ウォーキングの開催など市民が親しみやすいものから全国レベルのものまで実施できる環境があげられています。また、スポーツを推進していくうえでのインストラクターの養成や部活を充実させるために外部の専門家を取り入れるといった意見もあがっています。

行財政運営

提言

【公共施設の適正化】

- 計画的な公共施設の修繕や設備充実を図り、市民の利用促進を図る

【市政情報の発信】

- わかりやすい市政情報の積極的な発信を図り、市民参画を促す

市民意見のまとめ

行財政運営の分野では、公共施設の適正化や市政情報の発信に対する意見が多くあげられました。公共施設の適正化では、空き市営住宅の有効活用や公民館の利用促進を図り、市民の居場所づくりに活用することがあげられています。また、公共施設については、高い場所に設置するなど津波を意識した防災対策としても意見があがっています。

市政情報の発信では、広報に魅力がないことや広報記事がわかりづらいことから、市の広報やホームページを見やすく・わかりやすくすることがあげられています。また、広報も市民の声や意見を取り入れる市民参加型の広報とすることや地域の活動内容を記事として掲載するといった意見もあがっています。